

機械・工具販売好調で計画上方修正も、受注はまだ底打ちしていない

サマリー

● 23/12期2Q決算は、業績予想の上方修正、M&Aの実施、スマートファクトリー領域の進展、自社株買いの発表と事業・財務双方で注目すべき事項が多かった。特に、8/21に同社初となる上限40億円の自社株買いを発表して以降、株価水準は明確に一段改善しており、資本効率の向上を意識した経営の進展がマーケットに一定評価され始めたものと考えられる。一方、年初来の株価パフォーマンスは▲15%程度と依然マイナスで、他の機械商社株が概ね+20%、機械株が+50~60%程度で推移している事を踏まえると、相応にアンダーパフォームしている。結果、PERを始めとしたマルチプルを横比較した際の割高感は薄れ始めており、従前と比較するとエントリーしやすい状況にあると言えるだろう。

2023/12期2Q決算概要

● 8月8日に発表された23/12期1~6月期決算は、売上高が前年同期比10.7%増の851.6億円、営業利益が同15.4%増の31.9億円だった。期初に開示された半期計画に対し、売上高は+11.6億円、営業利益は+6.9億円上振れての着地だった。良好な進捗を踏まえ決算同日に中期計画を上方修正、売上高は1,700→1,710億円(+10.0億円)に、営業利益は57.0→60.0億円(+3.0億円)に引き上げられている。

主力の機械・工具セグメントは、売上高が期初の半期計画比+9.3億円の583.3億円、セグメント利益が同+9.4億円の22.4億円で上振れ牽引役となった。半導体不足等を背景とした供給制約から受注が積み上がる一方で売上計上が遅れ気味だった22年に対し、23年は積み上がった受注残高の消化が進んでいる。また、自動車メーカーの生産台数増などで工場稼働率が高く、工具販売も堅調だった。

同セグメント売上高の約30%を占める海外売上高は前年同期比38.3%増の174.9億円と高伸した。22年に受注旺盛だった工作機械・射出成形機の販売が進んだ上、為替レートも円安に振れたことから、海外売上高の約50%を占める北アメリカ、同25%の中国を中心に収益拡大に貢献した。会社計画上の為替前提は開示されていないが、策定期と足元との乖離幅に鑑みるに、円安進行も相応に計画上振れの一因だったと推察される。

次点で収益ボリュームの大きな建設資材セグメントは、売上高が期初の半期計画比+11.3億円の221.3億円だった一方、セグメント利益は同▲1.4億円と収益性は軟調に推移した。大口案件が牽引する形で建設総需要自体は堅調だが、同社が主力とする中小施設の動きは強くない模様である。

決算期	売上高 (百万円)	YoY (%)	営業利益 (百万円)	YoY (%)	親会社株主利益 (百万円)	YoY (%)	EPS (円)	DPS (円)
2019/12	175,395	-	6,892	-	5,620	-	-	-
2020/12	145,028	-17.3	4,539	-34.1	2,996	-	-	-
2021/12	143,180	-1.3	3,178	-30.0	3,065	-	-	-
2022/12	162,416	13.4	5,895	85.5	4,531	47.8	178.9	113.0
2023/12CE	171,000	5.3	6,000	1.8	4,700	3.7	185.1	65.0
2022/12 2Q	76,911	-	2,760	-	3,311	-	86.2	-
2023/12 2Q	85,159	10.7	3,186	15.4	2,598	19.0	102.6	-

出所：同社IR資料より SIR作成

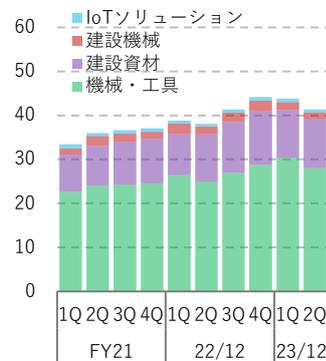
注釈：FY21以前は2グループの収益を期間集計し直した修正値である。

なお、2022/12のDPSには、記念配当50円が含まれている点に留意されたい。

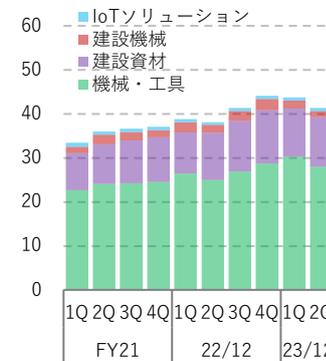
2Q Flash



売上高 (十億円)



売上高 (十億円)



出所：同社IR資料より SIR作成
注：FY21以前は2グループの収益を期間集計し直した修正値である。

アナリスト 長谷川 翔平

research@sessapartners.co.jp



本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレームーをご覧下さい。

ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp